



学校だより特別号

前期 学校アンケート結果について

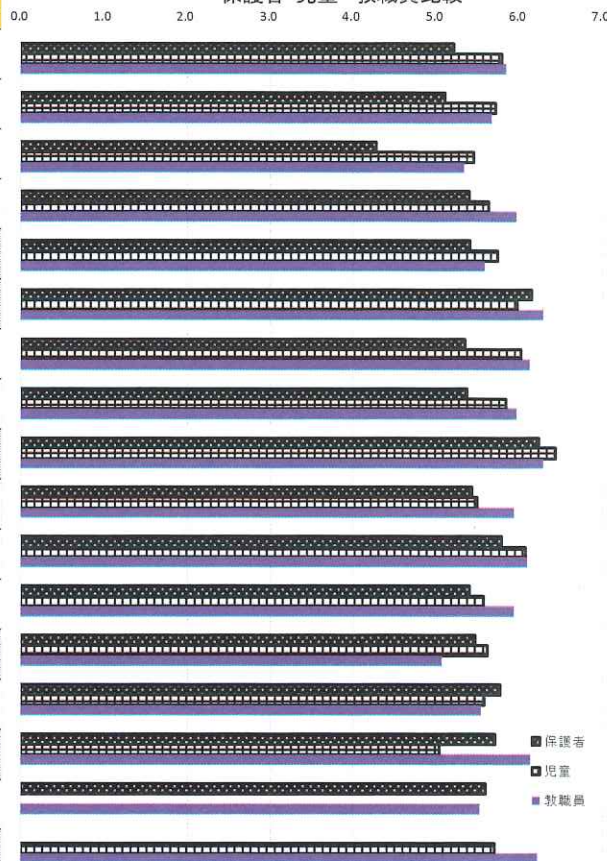
京都市立明徳小学校
校長 服部 秀
TEL: 075-701-0111
FAX: 075-701-0112

学校アンケートにご協力ありがとうございました。アンケートは、「確かな学力」「豊かな心」「健康な体」「開かれた学校」の4観点から実現度をおたずねしました。

保護者・児童・教職員 回答 比較

保護者・児童・教職員 回答 比較		保護者	児童	教職員	
1	学	めあてをもってすすんで学習に取り組んでいる。	5.2	5.8	5.8
2	学	すすんで家庭学習に取り組んでいる。	5.1	5.7	5.7
3	学	すすんで読書をしている。	4.3	5.4	5.3
4	学	授業や家庭学習で、基礎学力が身につけてきている。	5.4	5.6	6.0
5	学	授業や家庭で対話をする力が身につけてきている。	5.4	5.7	5.6
6	心	毎日楽しく学校に通っている。	6.2	6.0	6.3
7	心	すすんで挨拶をしている。	5.3	6.0	6.1
8	心	いろいろなことにチャレンジしようとしている。	5.4	5.8	6.0
9	心	友だちを大切にしている。	6.2	6.4	6.3
10	心	自分のよいところや得意なことを言える。	5.4	5.5	5.9
11	心	学校や家庭、交通のルールを守っている。	5.8	6.1	6.1
12	体	すきらいせず、バランスよく食事をしている。	5.4	5.6	5.9
13	体	外遊びなど、すすんで運動をしている。	5.5	5.6	5.1
14	体	早ね・早起き・朝ごはんをしっかり食べる等、規則正しい生活をしている。	5.8	5.6	5.5
15	開	子どものことで気になることがあれば、学年担任や学校に気軽に相談できる。	5.7	5.0	6.1
16	開	学校からのおたよりやホームページで、学校の様子がよくわかる。	5.6		5.5
17	心	あじなす目標を意識して行動している。		5.7	6.2

保護者・児童・教職員比較



6. 毎日楽しく学校に通っている。

9. 友だちを大切にしている。

15. 気になることがあれば、学年担任や学校に気軽に相談できる。

今年度のアンケート結果も「毎日楽しく学校に通っている」「友達を大切にしている」の結果が非常に高いことを大変嬉しく思います。本校のめざす子ども像は「はじめの一歩をふみ出せる子ども」「互いの思いを大切にできる子ども」「仲間と共に、安心・安全な社会をつくる子ども」ですが、これらを意識して児童を指導し、関わっていることが、これらの項目の結果につながっているのではないかと思います。保護者の方からの自由記述欄にも、教職員が子どもに寄り添っていることや、子どものために丁寧に取り組んでいることへの感謝のお言葉も多くいただき、ありがとうございました。

一方で、「楽しい」と思えない児童がどうすれば気持ちが前向きになるのか、安心して登校できるようになるのかということも、日々考え、課題に向き合っております。そこで注目したのが「気軽に相談できる」という項目です。この項目については、児童のポイントだけ他と比べて低いことが気になりました。学級担任と児童との教育相談ではその理由を「悩んでいなくて相談することがない」と話していた児童もいたため、必ずしも「あてはまらない」と回答した児童全てが困りを抱えているわけではないようですが、うまく悩みを言葉にできなかったり、相談するタイミングを見つけれなかったりして、気軽に相談できない児童もいると思います。児童の気持ちに気づき、寄り添い、誰一人取り残すことなく関わっていくようにしたいです。

また、保護者の方からの自由記述欄にあった至らない部分へのご指摘は、教職員間で共有しています。2学期以降に改善できるよう、今後も教職員一同力を合わせて取り組んでまいります。

明徳小学校が「明日も来たい学校」になるには、お互いが支え合い、認め合い、豊かに関わり合えることが不可欠です。今後ともご協力をよろしくお願いいたします。

5. 授業や家庭で対話をする力が身につけてきている。

明徳校では「対話力」の育成を目指し、授業をはじめ様々な場面で、対話力を育てる取組を取り入れています。昨年度の「学校だより特別号(学校アンケート分析)」でお知らせした「対話タイム」での取組は、今年度も学年ごとに児童の実態に合わせて内容を工夫して取り組んでいます。また、本校では年に2回、児童を対象として、対話に特化したアンケートも実施しています。その結果から、自分の思いを話したり聞いたりすることを楽しんでいて、対話の場面を肯定的に捉えている児童が多いことが分かりました。また、学年が上がるほど、対話によって自分の考えが広がったり深まったりすることがよいと感じていることも分かりました。

対話力の育成に力を入れるようになり3年目ですが、対話力の育ちは、児童会活動からも見えるようになってきました。例えば、児童会本部と地域との合同会議での姿です。決まった内容を伝えることにとどまらず、その場で思いや考えを整理して相手に伝えるなど、即興で言葉のキャッチボールをする力には、驚かされます。このような力はすぐに身に付くものではなく、また、学校だけで付けられる力でもありません。お忙しい中ですが、ぜひご家庭でも毎日の出来事等を話す時間をとって、対話を楽しんでみてください。

保護者の方からの自由記述欄には、複数の項目において「学校では頑張っているようですが、家では…」と書かれていることがよくあります。特に読書については、毎回、保護者の他者とのポイント差が大きいです。とはいえ、家庭でも「させる」となると難しいのではないのでしょうか。学校では、それぞれの項目において、家庭でも主体的に取り組めるような仕掛けを工夫していきます。自然な流れで家庭での姿につながっていけばと思っています。

17. あじなす目標を意識して行動している。

昨年度からアンケートに加わった項目です。今年度の合言葉は「あじなす」から「あじなすさん」に変わりました。これまで本校で常に意識してきた「あいさつをする」「じかんを守る」「なふだを付ける」「すりばちを揃える」に「さん付けで名前を呼ぶ」の頭文字をとった目標です。どの学年の児童も、合言葉としてだけでなく、その内容もよく理解していて、意識の高さが伺えます。しかし、新しく加わった「さん付けで名前を呼ぶ」ことは、もともとある4つに比べて、児童、教職員ともにまだまだ意識が弱いようです。

保護者の方からの自由記述欄に、校内で耳にする言葉遣いが乱暴であることへのご指摘がありました。本校では「ことばを大切にしよう」ということも重点としているのに、大変残念な現状です。「あじなすさん」については、月初めの人権・児童朝会で呼びかけられていることだけ頑張るというのではなく、その意味をよく考え、自然とできるようにしていきたいです。

13. 外遊びなど、すすんで運動をしている。

この項目で保護者のポイントが昨年度より上がっていることは予想外でした。今年度は例年にも増して熱中症指数が高い日が多く、外遊びも制限されてしまったからです。

それでもポイントが上がった理由は、地域主導型に移行した部活動ではないでしょうか。働き方改革の1つとして小学校から部活動がなくなっていく中、明徳校では地域指導者のご協力のおかげで、運動系の部活動はバスケットボール、バレーボール、サッカー、陸上競技と、種類も豊富です。さらに、かねてより指導者を募っておりました卓球についても、近いうちに部を立ち上げることができそうです。本当にありがとうございます。

一方で、保護者の方からの自由記述欄には、放課後遊びのルールに関してのご指摘がありました。公園遊びの途中等で子どもだけでコンビニやスーパーに行くことがあるようですが、学校では、子どもだけで行かないよう指導しています。今一度、ご家庭でもお話いただき、みんなが安心して外遊びを楽しめるようにご協力ください。

【資料の中の数値について】

よくできている…「7」
だいたいできている…「5」
あまりできていない…「3」
できていない…「1」
回答人数をかけた総計を回答者数で割り、平均を出しています。「4」が中間値となり、「5」を超えていると概ねできていると判断してよいと考えています。